

水の事故を防ぐために

夏は海や川、山など、アウトドアでのレジャーを楽しむ機会が増える季節です。自然に触れるレジャーは、楽しみがある反面、自然ならではの危険もあります。自然を甘く見ず、危険をきちんと認識し、行動することが大切です。

海での水難を防ぐための注意点

(1) 海水浴の際は、危険な場所を確認し、近づかない

(2) 健康状態が悪いときは泳がない

体調が優れないときや睡眠不足で疲れているときは、水泳や釣りなどは控えましょう。

(3) 悪天候のときは海に出ない

天候の変化に注意し、海が荒れているときや荒れることが予想される場合は、海水浴などを中止しましょう。

(4) 子供だけでは遊ばない

必ず大人が付き添い、子供だけでは遊ばない。特に一人での水遊びは大変危険です、絶対にやめましょう。

(5) ライフジャケットを着用する

釣りをするときは、ライフジャケットを必ず着用しましょう。

川での事故を防ぐための注意点

(1) 出掛ける前に天気や川の情報をチェック

(2) 危険を示す掲示板、水流が速い・深みがあるところは避ける

(3) 河原や中州、川幅の狭いところに注意

(4) 天気や川の変化に注意する

次のような変化が見られたときは、川の水が急に増えるサインです。すぐに避難しましょう。

①上流（水が流れてくる方）の空に黒い雲が見えたとき ②雷が聞こえたとき

③雨が降り始めたとき ④落ち葉や流木、ゴミが流れてきたとき

豪雨・台風などのときは、注意！

集中豪雨などのために、ごく短時間のうちに水位が急上昇して水があふれ出し、川沿いの公園や道路にいた人が押し流されたり、あふれた水のために河川や用水路の位置が分かりにくくなり、足を踏み外して流されてしまう危険があります。